

令和6年度PPA評議員会・総会 Q & A

NO	質問	回答
1	過去に、コロナ対策費として5,000万円程度を別途積立金から取り崩し、令和4年度で3,000万円、令和5年度で1,500万円を戻し入れしていると思うが、その考え方を教えてください。	現在、基本金は5,000万円、別途積立金が6,800万円となっています。災害等により単年度の収入が得られなかった場合においても1年間はPPAの活動と学生への支援が可能となるよう基本金と積立金を設定しています。
2	収支決算書の支出科目で「学生自治活動援助費」と「学生行事援助費」の予算額と決算額が同額ですが、渡し切りとなっているのですか。ある程度の管理が必要ではないのかと思います。どのようにしているか教えてください。	学生への援助金額については、予算の範囲内で実費精算としています。各学生自治会及びサークルから月に1回決算報告書を提出させ、大学において使用状況の確認を行っています。
3	「学生課外活動支援」「学生奨学支援」について指導する教職員へ援助金を支給する場合、現金で支払うのか教えてください。	学生課外活動援助金は、PPAの規程に則り、指導する教職員顧問や監督に対し、懇親会費は1万円、合宿・試合参加費は実費を支給することになっています。支払い方法は本人指定の銀行口座へ振込みを行っています。
4	援助について「3会」という表記が出てきますが、3会に所属していない学生には、どのような援助がされているか教えてください。	自治会の活動内容は、自治会所属の学生のみが参加する活動ではなく、一般学生を含めた様々のイベントを実施しており、文化の祭典や、学園祭等全ての学生が参加できるものとなっています。一般学生への広報も行っており、一部の学生への支援にとどまるものではないことをご理解ください。
5	自動販売機や学生食堂などで学生に対する広い支援として援助することはできないでしょうか。	自動販売機や学生食堂に関しては、大学が100%出資しているCITサービスに委託をしています。 学生食堂は、全国の大学と比較してもかなり安い設定としております。学生食堂は売れるたびに赤字が増えてくるというくらい質を良くして、食堂の決算では食数が増えれば増えるほど赤字が増えていくような体制で、学生に還元するということを前提に経営をさせていただいておりますので、ご理解をいただければと思います。

6	収支決算書の表記で、一番下の「差異欄の表示方法」に、差額がマイナスになった部分は△印を付すと記載されていますが、収入の部で差異がマイナスとなるのは違和感があり収支がマイナスなのかと見てしまいます。	現在の決算書の表記については、大学の決算書の表記と同様に予算に対して決算が上回った場合にはマイナスの表記をしています。 わかりやすい表記を検討いたします。
7	予備費について、昨年も総会で質問が出ており、その年に使い切ってほしいというリクエストがありました。予備費、積立金については1年間の運営費として積み立てが必要であると説明がありましたが、この予備費について、繰り越し、積み立て以外の余剰資金として組み入れる部分があるとしたらどういうことを想定されていますか。	7ページをご覧くださいまして、現在、収入の部において当年度収入合計が約1億3,000万円で、支出においても約1億3,000万円となっています。ほぼ収入と支出が同額の状況であり、余剰がある状況ではございません。各年据え置いてきた繰越金が残っているように見えますがこれは過去に取り崩した積立金へ戻し入れをしています。
8	昨年1年間学友会に在籍しており、いろいろな活動に携わり勉強になったと思いますが、地域の自治会のお祭りの手伝いで、朝は6時に出て、帰宅が深夜12時近くであった。地域のボランティア活動とはいえ、こんなに長時間はいきすぎではないでしょうか。学友会（大学）の担当者は承知しているのでしょうか。担当者が時間を把握して管理をしていない活動に援助するのはいかがなものかと思います。	学外での活動に関しては、計画書が出ているため、担当教員が確認することになっています。 地域活動は、大学が地域と交流するという意味で、非常に重要だと考えていますが、拘束時間が長くなった場合、個人で判断して活動を制限することも必要と考えます。学友会では拘束はしていないようですが、学友会が活動時間を把握できていなかった可能性もありますのでPPAから大学側へ改善を要望します。

9	国際交流援助で、夏期英語研修・海外インターンシップ・モンゴルサマースクールインターンシップに参加している学生の学年、例えば1年生で何人、2年生で何人など、どの学年が参加しているのか教えていただきたいです。	学年は、2年生、3年生が中心で、就職活動がある程度始まる前の段階が多いです。1年生については参加資格がないプログラムもありますので、基本的には2年生以上が参加しています。学年ごとの人数については本日資料がないためご容赦ください。 本学ではTOEICのテストを1年生、3年生、大学院1年生時に大学負担で一斉受検をしてもらっていますが、語学研修への参加には400点以上取ることが前提になっています。 【ご参考】 ・参加した学生の学年ごとの人数は以下の通りです。 ＜カリフォルニア＞ 1年生・2人、2年生・3人、 3年生・7人、4年生・3人 (合計 15人) ＜ベトナム＞ 1年生・1人、2年生・4人、 3年生・2人、4年生・2人 (合計 9人) ＜モンゴル＞ 3年生・2人、 大学院1年生・1人、2年生・1人 (合計 4人)
10	学生生活を送る上で、保護者が疑問や心配だなと思ったときに、それを聞いていただけるような窓口はないのでしょうか。そういったところが分かりやすく表示されているかどうかお聞きしたいです。	教学センター（学生担当・教務担当）という組織が津田沼と新習志野にあり、学生の学生生活を扱っています。1・2年生は新習志野の教学センター、3・4年生、大学院生は津田沼の教学センターにご連絡ください。窓口の一覧については大学のホームページに掲載しています。
11	子供が部活動をしています。一部のクラブで新入生歓迎会に全員強制参加、飲み物もビール以外はダメだという話をしている。そのクラブの中身自体は楽しいが、飲み会が嫌で辞めてしまった。結束を高めたいという先輩がいたそうですが、上級生になった時の教育を考えてほしいです。	部活動の部長・顧問会議にて、ご指摘いただいたような内容については厳重に注意をしています。ただし、お話をいただいたように、まだそのような状況が残っているということであれば、大学から各部活動の主将や部長・顧問各位に対して再度注意をいたします。

12	部室の冷暖房が入るのが午後3時からと聞いていますが、これは学業優先の観点と、クールビズなどの観点と息子から聞いています。	節電の関係で、午後3時以降に部活動のお願いも含め学生には周知をさせていただいています。地域の関係もあり大学全体での電気容量が決まっています。部室だけではなく実験等でもかなり高い電力を使うことが夏休みに起こっていることから、午後3時以降に活動をお願いしておりましたが、状況を確認し今後対応していきます。
13	今回の評議会の議事録は、後で郵送か、PPAのホームページのほうで公開されることはあるでしょうか。	記録も取っていますが、議事録としては公開しておりません。ただ、重要な点、ご質問のあった点等については、事業報告ですとか総会の報告としてホームページに載せることも検討したいと思います。
14	18ページの収支予算（案）について支出の部で、学生課外活動支援費が100万円ほど去年よりも予算が増えています。7ページの令和5年度の支出の部で、300万円ほど使われていないのに100万円予算が増えているのはなぜなのか、学生奨学支援費も同じように、300万円ほど使われていないのに予算が増えているのはどうしてなのでしょう。教えてください。	学生課外活動援助費は、3つの会（文化会・学友会・体育会）にそれぞれ援助をしております。その3つの会でそれぞれ余っていますが、3つの会に加えて寮友会へも援助を行うため100万円の増額としています。 学生奨学支援については、研究活動援助費で増額しており、これは大学院生の進学者が多くなっていることから申請数が増えています。今年に限っては学部生の申請が少なかったのですが、過去に学部生に対する申請数から金額を考え、学部で450万円を予算としています。これに対して大学院生は100万円程度しか使えないという状況であったので、大学院生の申請が今年と同等と想定して予算を確保いたしました。状況を見ながら調整はさせていただきますが、学部生及び大学院生の想定される最大の申請数を考え予算をとっています。

15	保養所の利用費用ですが、1,200万円となっています。令和5年度も6年度も1,200万円になっていると思いますが、5年度は12カ所1,200万で、6年度は10カ所になるが予算は変わらないということでしょうか。	保養所の数は12カ所から10カ所に減ってしまいましたが、利用に関して申請数は変わらないと想定し予算は同額としました。保養所の数は減りましたが、保養所との契約において契約金が発生しているわけではありませんので、数が減ったからといって予算が変わるわけではなく、利用者数が見込まれるので予算はこれまでどおりとしています。なお、利用者数が想定より大幅に増加した場合は予備費から支出させていただくことになると思いますのでご承知おきください。
16	本年度予算案に対し、去年の予算案を並べても分かりづらいです。実績と並べないと非常に分かりづらい。できれば次からは実績を入れていただきたいです。	確かに見づらいということもありますので、決算書と予算書が並ぶような冊子構成にということは検討させていただきたい。
17	令和5年度収支決算書で、会費収入と入会金収入は、学生数に応じた額になると思いますが、予算1億300万に対して、決算額が1億600万となっており、決算額のほうを今期の予算にするべきなのではと思いますが、どうなのでしょう。	令和5年度の決算で、少し予算額より多くなったというのは、令和5年度の入学者が定員を超えて多く入学したためです。予算については、基本的に大学で設定する定員に合わせた予算としております。このため、大学の定員に変更がない限り、予算は同額となります。